

# 日風堂

〈高知県立歴史民俗資料館だより・おこうふうじつ〉

第71号 2010年7月1日

二〇一〇年NHK大河ドラマ特別展 **龍馬伝** (しっぽん)  
〔平成二二年七月三十一日(土)〜八月三十一日(火)〕  
特別展示資料 **坂本龍馬湿板写真の技術と謎** 東京都写真美術館 学芸員 三井圭司

坂本龍馬像オリジナルガラス版写真

3日間限定公開

七月三十一日、八月一・二日

「坂本龍馬湿板写真」には、技術的な謎がある

本作で用いられている技術は、コロデオン湿板方式で、アイボリーから透明に向かつてのグラデーシオンで画像を形成する。一八五一年に英国で発表された技術で、一九世紀後半でもっともポピュラーな写真方式である。日

本が開国して輸入された中心的な方式でもある。ただ、この方式には二つの用い方がある。ひとつは、印画紙にプリントするための撮影原板として使用する(湿板ネガ)。もうひとつは、撮影原板をそのまま眺める方法(アンプロタイプ)である。通常、このふた

つは明確に分かれる。印画紙に焼き付けるためには、濃度の高い部分がしっかりと光を遮断できる必要がある。このため画像は光にかざせば解る程度の暗いものとなる。一方、アンプロタイプはアイボリーから透明で形成されたネガ像の下に黒色の紙や布を敷くことで、黒からアイボリーに向けての

ポジ像へ変換する。画像濃度は薄く、逆に光にかざすと画像が薄すぎて内容がわかりにくい。同じ材料だが、非常に明確な区別が可能なのである。

しかし、「坂本龍馬湿板写真」は、このどちらか判じかねるのである。明治時代にプリントされた印画紙が現存する(幕末のものは未見)ことから、原板として使用されたことがあるのは事実である。濃度を測定しても、焼付けが可能だけの差があり、濃い部分は濃度がある。それにもかかわらず、現在そうであるようにガラスの後ろに暗色布を置くと画像はしっかりと確認できるのである。

本作が被写体(坂本龍馬)の側に伝承したのではなく、撮影者側に伝承していたことを考えるとネガであった可能性が高い。しかし、龍馬へ渡したアンプロタイプの別カットが残った可能性も否定できない。

日本でもっとも著名な幕末写真である本作には、まだまだ謎が残されているのである。



坂本龍馬湿板写真 武市祐吉氏寄贈

# 特別巡回展 二〇一〇年NHK大河ドラマ特別展

## 龍馬伝

平成二三年七月二二日(土)〜八月三二日(火)に開催



二〇一〇年NHK大河ドラマ特別展「龍馬伝」を七月三二日から高知県立歴史民俗資料館で開催します。

この特別展は、二〇一〇年NHK大河ドラマ「龍馬伝」の放送と連動して、高知や京都などに伝わる龍馬の遺品や書類類、幕末の騒動を伝える歴史資料などで構成しながら坂本龍馬の波乱に満ちた生涯を浮き彫りにしていきます。

展示会は、東京・京都・高知・長崎と全国四会場を巡回していきます。東京都江戸東京博物館【東京展】から始まったこの展示会は、東京会場で約一四万人の入館者がありました。その後、京都文化博物館【京都展】(六月一九日〜七月一九日)、そして七月三一日から八月三一日まで高知県立歴史民俗資料館【高知展】で開催(開催期間中無休)されます。最後は、長崎歴史文化博物館【長崎展】(一〇月二日〜十一月三日)となります。

展示は、四章で構成されています。第一章「土佐に生まれて」、第二章「坂本飛騰!」、第三章「薩長同盟成る」、第四章「夢は世界へ」、そして特設コーナーとして「写真に遺された龍馬像」、「坂本

龍馬ゆかりの資料」、「岩崎弥太郎ゆかりの資料」、「坂本龍馬ゆかりの地」があります。

なお、今回の展示資料には、国の重要文化財や重要資料のため展示期間が限定されているものがあります。資料保存のため、展示会場により展示資料がやや異なっています。(岡本)



では、高知会場の見所と主な展示資料を紹介します。



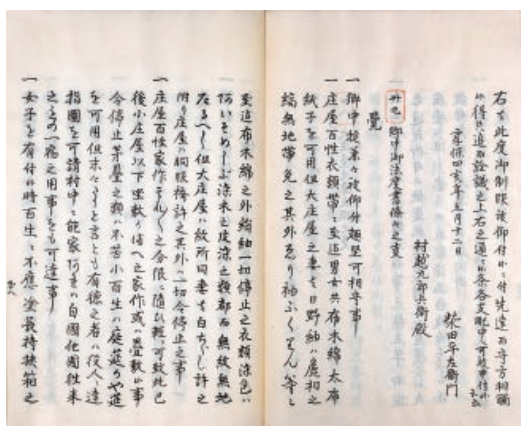
### 第一章 土佐に生まれて

本章では、土佐藩の政治状況や龍馬の人間関係を明らかにするとともに、龍馬の思想の原点を探ります。

坂本龍馬は、上町本町(現・高知市上町一丁目七番三四号)で、天保六年(一八三五)旧暦の十一月五日に誕生したとされています。

龍馬が生まれた土佐藩は、上士(土佐に入国する前から山内家に仕えてきた侍)と下士(山内家より前から土佐に在住していた侍)との間には厳しい

差別があり、下士の生活様式も細かく規定されていました。これは「憲章簿」(写真①)という土佐藩の法律を集大成したもので知ることが出来ます。



① 憲章簿 高知大学総合情報センター蔵 全期間展示

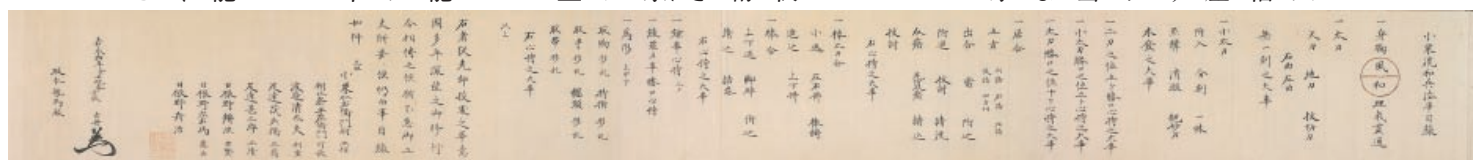
たとえば、絹製の衣類を着ることができたのは、上士のみでその他は木綿製である、道で上士にあつたら下士は道端によけて平伏する、下士は郭中(高知城周辺の武家屋敷地、現在の高知市廿代町三〜高知市升形付近)を通行するときに笠をかぶってはいけない、などです。また下士が藩の政治に携わ

ることはできませんでした。

龍馬の実家は、一六一石の領地をもつ裕福な家で、本家の才谷屋(さいだにや)は高知城下でも指折りの豪商でした。身分が高い上士が家禄を抵当に金を借りに来るさまは龍馬に身分制度の矛盾を感じさせたことでしょう。

少年時代の龍馬は、どこか頼りない印象でしたが、小栗流・日根野弁治(ひねのべんじ)入門し剣術を始めからは、めきめきと上達し、嘉永六年(一八五三)には「小栗流和兵法事目録」(重要文化財 写真②)が授けられました。

それからまもなく龍馬は江戸へ剣術修行に赴き、北辰一刀流・千葉定吉(ちやばさだきち)入門します。「芸は身を助ける」という言葉のように、龍馬は剣術を通じてたくましく成長していったのです。



② 小栗流和兵法事目録 (重要文化財) 京都国立博物館蔵 全期間展示

## 第二章 坂龍飛騰!

江戸で剣術修行に励んでいた、嘉永六年の六月には浦賀沖にペリーが来航しました(写真③)。この黒船騒動はその後の龍馬の行動原理に大きな影響を与えたことでしよう。



③ ペリー浦賀来航図 (重要文化財) 彦根城博物館蔵 8/17~8/31 展示

帰国後、土佐でもっとも海外通である河田小龍を訪れ西洋事情を聞いています。黒船騒動を機に、全国で尊王攘夷(天皇を尊敬し、外国の言いなりにならない政治を行うこと)を主張する志士たちが登場し、土佐では武市半平太を盟主とする土佐勤王党が結成され

ます。しかし、武市の考えに違和感を感じた龍馬は脱藩します。そして後に彼の人生に大きな影響を与えた勝海舟(写真④)と運命的な出会いをします。

勝から最新の海外情報および日本全体の力を結集した(「一大共有」)海軍設立計画を聞いた龍馬は直ちに弟子入りしました。また勝を通じて大久保一翁、横井小楠、西郷隆盛といった人々との人脈ができました。

これらの行動は、黒船に欧米諸国の「文明」を見出し、海軍設立を通じて新たな国づくりを行う方向性を決定するヒントを龍馬に与えたといえます。

そして文久三年(一八六三)、神戸海軍操練所の横に併設した勝塾で高松太

郎、沢村惣之丞らとともに海軍修行に励みます。自らの夢の実現に前進した矢先、操練所の中に池田屋事件や禁門の変で長州軍に加わった者がいたという理由で海軍操練所は閉鎖、勝は江戸に呼び戻されました。勝という保護者を失った龍馬たちは、西郷隆盛のいる薩摩藩に身を寄せたのです。

## 第三章 薩長同盟成る

本章では、同志や家族に宛てた手紙から龍馬の志士としての活動とともに、龍馬の人的魅力について紹介します。西郷に誘われて薩摩を訪れた龍馬は、薩摩藩の強大な力を知り、長州との同盟を画策します。犬猿の仲だった両藩を結びつけるには様々な苦労がありま



④ 勝海舟江戸開城図 川村清雄筆 江戸東京博物館蔵 全期間展示

したが、中岡慎太郎、土方久元ら土佐出身の同志たちの協力を得て、実現しました。同盟は秘密のうちに結ばれたのですが、薩長が和解したという噂は早くから広まりました。その噂を聞いた勝は、「彼ならおそらく実現したであろう」と日記に書いています。

薩摩藩の協力を得た長州藩は、国を挙げて軍事訓練を行うなど、幕府との全面戦争の準備を進めました。その様子は慶応元年（一八六五）九月七日付で家族に宛てた書簡に記されています（写真⑤）。

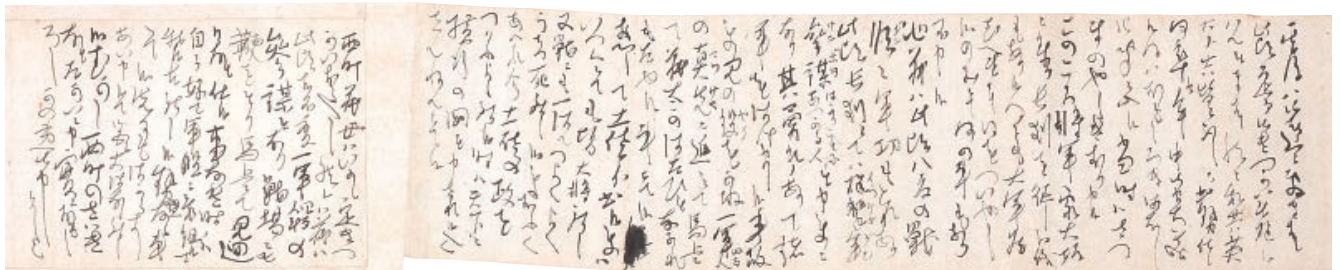
この時期に龍馬が家族に宛てた書簡を見ますと、家族だけでなく乳母、友人の家族のことも気遣っている記述が見られます。

たとえば、慶応元年九月七日付書簡（写真⑤左）には「南町のうバはどふしているやら」と時々気になっていることや、秋頃に出したと推定される乙女宛の書簡（写真⑥左）には「西町蔵母ハいかゞ定きづかいなるべし」と友人池内蔵太の母親を心配し、この書簡に書いた内蔵太の近況を知らせてあげてください、と結んでいます。

さらに池内蔵太をはじめとする土佐を脱藩したものが各地で活躍している様を事例に、土佐藩の保守的な政治動向を嘆いていることが乙女宛の手紙（写真⑥右推定慶応元年夏）に書かれて



⑤ 坂本龍馬書簡 兄・権平、姉・乙女、おやへ宛 慶応元年九月七日 当館蔵 全期間展示



⑥ 坂本龍馬書簡 姉・乙女宛（右の書簡）推定 慶応元年秋 当館蔵 全期間展示（左の書簡）推定 慶応元年夏

います。  
故郷土佐に齒がゆい思いをする龍馬が土佐藩を救うために奔走するのは後藤象二郎との会谈後のことです。

#### 第四章 夢は世界へ

本章では、平和を希求し続けた龍馬の思想や、世界を目指した海援隊の本質に迫ります。

慶応三年二月（一月説もある）、龍馬は長崎で後藤象二郎と会談したのち、土佐藩に復帰し、海援隊を組織しました。

海援隊は、海運事業や商取引、開拓、「和英通韻以呂波便覧」などの出版事業等を行い、さらに有事の際は海軍として土佐藩を支援することを目的とした組織です。また隊士たちにとっては政治・経済、鉄砲術、蒸気機関、語学など近代国家建設に必要な知識と技術を実践しながら学べる場所としての側面ももっていました。

そのことは「海援隊日史」、「海援隊商事秘記」、「雄魂姓名録」（以上、重要文化財）、などの資料から知ることができます。

特に注目すべき資料は、「海援隊日史」（写真⑦）です。そこには大政奉還実現のために結ばれた薩土盟約（慶応三年六月二二日）の盟約文がのっています。その内容は一〇月に後藤象二郎ら土佐藩の代表者が幕府に提出した大



⑦ 海援隊日史（重要文化財）京都国立博物館蔵 8/17～8/31 展示

政奉還建白書とその副書に反映されています。

実は、建白書の内容には、船中八策と新政府綱領八策という龍馬ら海援隊が主張する新国家構想が取り入れられているのです。一説によると、長岡謙吉が建白書の起草に関わっていたともいわれています。

大政奉還が実現し、「世界」の海援隊をめざす龍馬ですが、その矢先、京都近江屋で何者かにおそれ三三年の生涯を閉じます。暗殺現場の床の間に掛けられていた板倉槐堂筆「梅椿図」(写真⑧、重要文化財)は何を私たちに語りかけるのでしょうか。

龍馬の死後、妻・お龍は、土佐の坂本家と妹・君枝が嫁いだ菅野覚兵衛の兄の家で世話になりました。

お龍は土佐を去る時、龍馬との思い出を自分の心にとどめるため、龍馬からの手紙は焼き捨てました。しかし龍

馬が贈ったといわれる帯留(写真⑨)は、仲良くなった覚兵衛の姪・仲子に贈りました。龍馬が自分の刀の下緒と目貫で作させたものです。

このようにドラマに映し出される様々な場面にまつわる資料約二〇〇点(展示替資料を含む)が一堂に展示されます(うち、重要文化財は二点)。

また、特別展について理解を深めるため、木村幸比古氏(霊山歴史館学芸課長・「龍馬伝」本展企画監修・企画委員)、佐々木克氏(京大名誉教授)を講師に招いての講演会、本展の企画委員による展示解説を開催します(日程等は八頁に掲載)。

(中岡慎太郎館学芸員 豊田満広)  
最後に、巻頭にも記しましたが、坂本龍馬湿板写真についての紹介です。期間限定で平成二二年七月三一日から八月二日まで実物公開します。(八月三日〜三一日までは複製展示)



⑧ 梅椿図 (血染掛軸)  
(重要文化財) 8/17～8/31 展示

坂本龍馬は「湿板(正確には、コロデオオン湿板方式)」という写真方式によって撮影されています。一八五二年、英国で発表され、開国後の日本にも輸入された一九世紀後半でもっともポピュラーな方式です。この方式は、ガラスの磨きから始めて、乳剤・感光材料の塗布まで写真師が行わなくてはなりません。乳剤の性質上、撮影から現像までの間に乾いてしまうと撮像が現れないためです。それゆえ、湿った板



⑨ 龍馬がお龍に贈ったといわれる帯留 個人蔵 全期間展示

と呼ばれるのです。さて、湿板は自製することからISO感度に換算すると〇・一〜一くらいの幅を持っています。晴天下において絞りがF一六で一〇秒が適正露光時間となる計算となります。また、この方式で撮影する写真器にはシャッターが付いていません。レンズの蓋を開け閉めすることで露光します。この間のどの段階で露光をやめるのかは、すべて写真師の胸先三寸で決まるのです。坂本龍馬の写真は、現在とは大きく異なり、機械によって制御される写真ではなく、職人の経験と勘によって培われた技術によって成立したものです。

(東京都写真美術館学芸員 三井圭司)

■会場は三階総合展示室・一階企画展示室となります。



## 2010年NHK大河ドラマ特別展

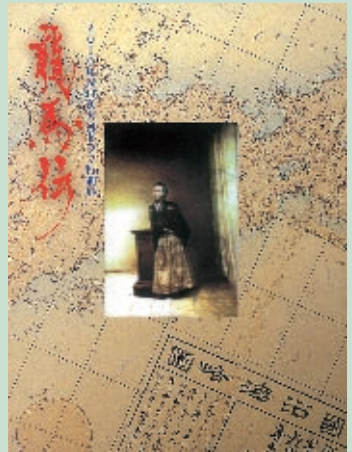
### 龍馬伝 図録

7月31日より販売  
1冊 2,300円  
(A4版 188頁)

好評発売中!

「土佐勤王党盟主 武市半平太の手紙  
— 拝啓 おとみ殿 —」

1冊 200円 (A4版 20頁)



## 2010年NHK大河ドラマ特別展

### 龍馬伝

会 期：平成22年 7月31日(土)～8月31日(火)

- 休 館 日：会期中休館日はありません
- 開館時間：午前9時～午後7時

観覧料	当 日	前売り	団体 (20人以上)
一般 (18歳以上)	1,000円	800円	800円
65歳以上	500円	500円	500円

【前売特典】 65歳以上前売券ご購入の方から抽選で40名様を、当館が11月に開催する史跡探訪「長宗我部元親・戸次の戦い 大野川合戦まつり (大分市) 観覧ツアー」にご優待致します。

※会期中、高知県立坂本龍馬記念館と北川村立中岡慎太郎館の半券持参者は団体割引料金となります

※無料 高校生以下・療育手帳・身体障害者手帳・障害者手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者とその介護者 (1名)

#### 前売り券取扱場所

● 高新プレイガイド、県立美術館ミュージアムショップ、高知大丸プレイガイド、高知市文化プラザミュージアムショップ、県庁生協売店、高知県内サニーマート (毎日屋あさくらセンター店・毎日屋あさくらセンター旭店・毎日屋さんばし店・毎日屋大橋通り店・清水店・四万十店を除く)、こうち生活協同組合 (コープよしだ・コープかもべ)、高知県内TSUTAYA、ホームセンターマルニ、ホームセンターハマート (ハマート清水店は除く)、とさてらす、城西館、イオンモール高知2Fサービスカウンター、ローソンチケット (Lコード69447)、高知県立歴史民俗資料館

主 催：(財)高知県文化財団・高知県立歴史民俗資料館・NHK高知放送局・NHKプラネット四国・高知新聞社 制作協力：NHKプロモーション  
後 援：高知市・高知県教育委員会・高知市教育委員会・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・エフエム高知  
協 賛：日本写真印刷・ハウス食品・三井住友海上

### 利用交通機関

会期中、毎日JR高知駅南口 (高知・龍馬ろまん社中) と県立歴史民俗資料館の間に往復無料シャトルバスを運行します。(所要時間約25分)

(行き) 高知・龍馬ろまん社中発 9:30から17:00まで30分毎

(帰り) 歴史民俗資料館発 10:00から18:30まで30分毎

※駐車場ののご案内/会期中の土・日曜日に館の駐車場が満車の場合は、高知大学医学部駐車場が臨時駐車場として利用できます。(無料送迎バス有り)

#### 高知県交通定期路線バス時刻表 ( )内は土日祝日

県庁前	→ 堺 町	→ JR高知駅	→ 一宮高知営業所	→ 歴民館着
8:56 (8:46)	9:00 (8:50)	9:05 (8:55)	9:15 (9:05)	9:33 (9:23)
14:36	14:40	14:45	14:55	15:13
16:51 (16:51)	16:55 (16:55)	17:00 (17:00)	17:10 (17:10)	17:28 (17:28)
料金：大人 650円	大人 580円	大人 580円	大人 390円	—

高知県立歴史民俗資料館・北川村立中岡慎太郎館共同企画展

# 「土佐勤王党盟主

# 武市半平太の手紙

# ― 拝啓 おとみ殿 ―

平成二三年七月一〇日(土)〜九月一二日(日) 会場：北川村立中岡慎太郎館



「土佐勤王党盟主 武市半平太の手紙― 拝啓おとみ殿―」が、七月一〇日から九月一二日にかけて北川村立中岡慎太郎館で開催されます。

半平太が妻・富にあてた手紙二〇〇通あまりのなかから人間・武市半平太をよく表しているものを厳選して展示します。また半平太が描いた書画、遺品、そして死後の名誉回復に関する資料もあわせて展示します。

また中岡慎太郎館では、半平太と慎太郎との師弟関係に注目し、慎太郎が半平太から受けた影響などについて探ります。では、企画展の見所と主な展示資料を紹介いたします。

## 武市瑞山先祖書

### (写真①)

この資料は、武市家のルーツ、半平太



① 武市瑞山先祖書 武市新一氏蔵 佐川町青山文庫寄託

の剣術指導の履歴等が記録されています。武市家は、山内家が土佐に入国した際に郷士となり、半平太の祖父は藩主に對する忠節を信条とし、まじめな勤務ぶりが評価され白札に昇格しました。半平太は、二二歳の時に小野派一刀流の初伝を受け、道場を構えました。そして藩命で、田野、赤岡へ剣術指南として出張し、安政六年(一八五九)には白札・郷士たちの剣術世話方を命じられました。半平太の指導能力の高さや誠実な人柄は各地で評判となりました。

### 藩主豊範名建白書草稿 (写真②)

これは半平太が土佐藩主の名前で朝廷に提出しようとした王政復古案です。その根本は朝廷を政治の中心に据える体制をつくることです。しかし、性急な内容と山内内容との承諾を得ないまま提出



② 藩主豊範名建白書草稿

武市新一氏蔵 佐川町青山文庫寄託

しようとしたことが後に問題となりました。

### 武市半平太書状第十六卷 (写真③)

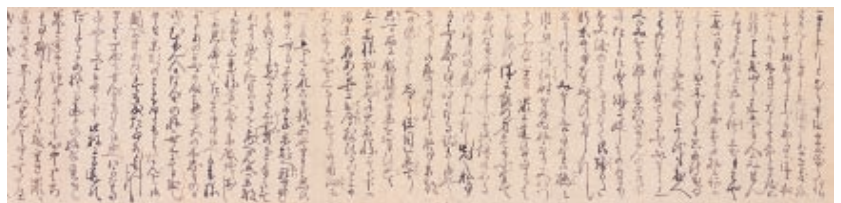
文久三年十二月二十日

本来、牢屋から手紙を書くことはできません。しかし、牢役人たちによって上司に内緒で手紙のやりとりが出来ることが書かれています。また、これまでの活動を振り返り、「京都での活動は、数百年にわたって山内家から受けた恩に報いるためである」と書かれており、祖父の生き方の影響がみられます。

その他、妻に宛てた手紙の内容は、差し入れの弁当の鯛飯がおいしいからまた作ってほしい、牢屋で詠んだ和歌を姉たちに見せてほしい、という個人的なことや牢屋での取り調べの状況、政治活動に関する内容も詳しく書いています。さらに、いつの日か妻に会える日があることを望みつつ、「会えなければあの世で語り合おう」という内容のものもあります。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(中岡慎太郎館学芸員 豊田満広)



③ 武市半平太書状 第16卷 文久三年十二月二十日 姉・美多、奈美、妻・富宛

## 「パスツァーのお知らせ」

八月二一日(土)に本展と大河ドラマ特別展「龍馬伝」を見学するパスツァーを開催します。参加を希望される方は中岡慎太郎館にお申し込み下さい。(定員四二名)

中岡慎太郎館

〒七八一―六四四九

高知県安芸郡北川村柏木一四〇

☎〇八八七―三八―八六〇〇

☎〇八八七―三八―八六〇一

## 予告 次回企画展

### 幕末維新土佐庶民生活誌

平成22年10月8日(金)～11月23日(祝・火)

龍馬や半平太が活躍した幕末、土佐の人々どのような暮らしを営んでいたのでしょうか。当時の日記や絵画などを手がかりに、暮らしぶりや年中行事、祭礼などの様子をかいまみたいと思います。



「土佐年中行事図絵」 高知県立図書館蔵

## オリジナルグッズ新商品登場!



### 歴史館オリジナルグッズが増えました!

長宗我部手ぬぐい(数量限定) 1,000円  
 もとちか君ハンドタオル(2種類) 各400円  
 長宗我部家紋ストラップ(2種類) 300円・350円

当館2階受付にて発売中!!

岡豊風日(おこうふうじつ) 第71号  
 平成二二年七月一日  
 編集・発行 高知県立歴史民俗資料館  
 〒783-0044 南国市岡豊町八幡1099-1  
 TEL 0888(8622211)  
 FAX 0888(8622110)  
 開館時間 午前9時～午後5時  
 (通常期)  
 臨時休館あり  
 休館日 年末年始(12月27日～1月1日)、  
 臨時休館あり  
 観覧料 通常期常設展)大人(18才以上) 450円・団体(20人以上) 360円  
 無料・高校生以下、高知県及び高知市長  
 寿手帳所持者、療育手帳・身体障  
 害者手帳・障害者手帳・戦傷病者  
 手帳・被爆者健康手帳所持者とその  
 介護者(一名)  
 印刷 共和印刷株式会社

http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~rekimin/  
 eメール: rekimin@kochi-bunkazaidan.or.jp

## 平成22年7月～9月の催し

### NHK 大河ドラマ特別展 龍馬伝

会期:平成22年7月31日(土)～8月31日(火)  
 会期中休館なし[会期中は午後7時まで開館]



現在 NHK で放映されている大河ドラマ「龍馬伝」と連動して東京・京都・高知・長崎の全国4会場を巡回する特別展です。この夏歴史館を会場として展示会を催します。

高知や京都に伝わる龍馬関係資料や幕末騒乱に関係する重要文化財やペリー関係の資料も展示いたします。

●観覧料: (「龍馬伝」展・長宗我部展示室観覧料込み)  
 大人(18才以上) 1,000円(前売り800円)、団体(20名以上800円) 65才以上500円(特典付き前売券500円)、高校生以下、療育手帳・身体障害者手帳・障害者手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)は無料 ※前売り券の詳細は6頁参照

会場:3階総合展示室:1階企画展示室となります。

### 2010年NHK大河ドラマ特別展「龍馬伝」関連行事

#### ●講演会

■7月31日(土) 14:00～16:00

「龍馬と池田屋事件」

講師 木村 幸比古氏(霊山歴史館学芸課長)

■8月22日(日) 14:00～16:00

「坂本龍馬の新国家構想」

講師 佐々木 克氏

(京都大学名誉教授、奈良大学教授)

※電話、eメール、葉書で要申込。先着150名。観覧料要

#### ●展示室トーク

■8月1日(日) 14:00～15:00

講師 三浦夏樹氏

(高知県立坂本龍馬記念館 主任学芸員)

■8月7日(土)・8月31日(火) 14:00～15:00

講師 豊田満広氏

(北川村立中岡慎太郎館 学芸員)

#### ●夏休みワクワクワーク(定員30名)

8月8日(日) 龍馬像を作ろう 14:00～16:00

8月14日(土) 琥珀で勾玉を作ろう 14:00～16:00

8月15日(日) 古代の鏡や和同開珎を作ろう 10:00～12:00

▲8月21日(土) 水鉄砲を作ろう 10:00～12:00

8月28日(土) からくり人形を作ろう 13:00～16:00

参加費: ▲以外は実費が必要となります。

※電話、eメール、葉書で要申込。先着30名。

展示をご覧になる場合は観覧料要

### 臨時休館のお知らせ

2010年NHK大河ドラマ特別展の展示にともなう搬入・展示・搬出、復元などの作業のため下記期間を臨時休館とします。なお、「龍馬伝」展期間中、3階総合展示室の常設展示は見学できません。2階長宗我部展示室のみ見学できます。

●平成22年7月22日(木)～7月30日(金)

●平成22年9月1日(水)～9月7日(火)